

しれとこ の森通信

1998
No. 1

100平方メートル運動の森・トラスト

創刊号

この用紙は環境保全(資源活用)のため
再生紙を使用しています。



NATIONAL TRUST

知床で夢を育てませんか!
いのちあふれる森を次の世代へ



多くの皆様のご協力によって、しれとこ100平方メートル運動が保全した知床の「夢の場」に、新たな夢を育て上げようと発足した「100平方メートル運動の森・トラスト」も、早いものでちょうど1年を経過いたしました。この間、全国1,600名をこえる方々から暖かいご支援をいただくことができました。皆様の変わらぬ知床への想いに、厚くお礼申し上げます。

百年以上先の太古の森の復活をめざす遠大な計画は、年々の皆様のご寄付によって支えられております。私たちもそのご期待に応えるべく、責任を持って森と自然の再生をすすめてまいります。改めてご理解とご協力をお願いいたします。

斜里町長 午東 昌

「しれとこ100平方メートル運動」から 「100平方メートル運動の森・トラスト」への展開

●土地の保全と植林のための募金目標達成：

「しれとこ100平方メートル運動」は、開発の危機にさらされた国立公園内の開拓跡の民有地を買い取って保全し、植林を行うことを目的として昭和52年に始まりました。土地の保全を中心とした募金は、全国4万9千人余りの皆様の善意によって平成9年3月に目標を達成しました。

残された課題は、対象地471.94haの内、残る5%の保全と未立木地への植林作業です。残りわずかではありますが、斜里町は責任を持って遂行して参ります。この部分に関する事業は、今後「保全管理事業」として実施してゆくことになりました。

●「譲渡不能の原則」による保全強化：

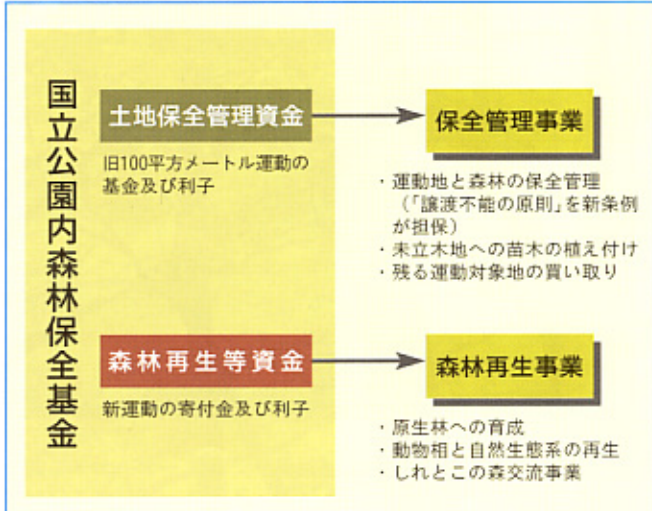
この運動で保全された土地に、周辺のもともとあった町有地を加えた900ha余りの地域は、平成9年4月に新たに制定した条例により、全体が一体として「譲渡不能」の地として永久に保全されることになりました。

●新運動「100平方メートル運動の森・トラスト」のスタート：

全国の人々の夢によって保全された場の苗木を育て上げ、多様で複雑な自然の森へ再生させてゆくこと、さらには、野生の生き物たちの営みをも開拓前の太古の姿へ復元してゆく運動が、平成9年6月からスタートしました。多くの市民からの協力によるトラスト運動として、夢を育て上げる遠大な計画が始まったのです。森と自然の再生は、今後「森林再生事業」として行われることになりました。



■平成9年度からの基金と事業の流れ



NEW STAGE



しれとこ100平方メートル運動の20年の歩みと成果を振り返り、
この精神を次の世代に、そして世界に引き継いでいくために…

運動 開始20年の節目の年に当たる平成9年(1997)9月、運動の関係者、国内外のナショナルトラスト団体を招いた国際シンポジウムが、斜里町ウトロにて開催されました。約250名の聴衆とともに、有意義な話し合いや交流の機会をもつことができ、集会の終わりには「知床宣言」が

運動20周年記念の集い(9/20)

運動の提唱者である故藤谷元斜里町長の功績を今一度たどり、そして運動精神を全国に広めることに貢献された方々として、朝日新聞「天声人語」で運動を再三取り上げ運動拡大に貢献された辰濃和男氏、日本にイギリスのナショナルトラストを紹介し御援助下さった木原啓吉氏、各地で運動拡大に貢献された岩崎憲太郎氏、笠岡英次氏、木内正敏氏、長峰友紀氏の6名の方々の功労をたたえました。また、運動の20年の歩みがスライドで報告されました。

北海道大学の石城教授による記念講演「森の命の再生」では、かつての日本の里山文化と、「原生林」を守り再生させようとする知床の試みの今日的意義について説かれ、聴衆の感銘をよびました。



シンポジウム前日に開催された国内外トラスト団体による地域セミナー/関係19団体と行政機関が集い、情報交換をおこなった。

●開・催・報・告

一九九七年九月二日

しれとこ100平方メートル運動20周年記念国際シンポジウム「アジア・オセアニア地域におけるナショナルトラスト」参加者一同

(一) アジア・オセアニア地域と日本のナショナル・トラスト活動は、環境保全の目標を共有することを確認し、未来の世代に対する責任を果たすために力を合わせて活動すること。

(二) 広い地域での、新たなトラスト活動の創造を促し、すでに保全している自然生物多様性、景観、および歴史的遺産などの資産を、将来にわたる維持管理するための最良の手段を追求する。

(三) 環境保全の意思をもつ団体と土地所有者を支援するための法制度の確立を促す。

(四) アジア・オセアニア地域のみならず、それを越えて世界の意思を同じくする人々とのネットワークを構築する。

(五) さらに、そのようなネットワークづくりのために新しいメディアを活用し、さまざまな情報を発信、交換する中から、運動を担うひとびとの連帯と合意を創り出す。

しれとこ100平方メートル運動20周年記念国際シンポジウム「アジア・オセアニア地域におけるナショナルトラスト」

採択されました。昭和57年、100平方メートル運動の5周年記念シンポジウムで採択された「知床アピール」が、運動の輪を広げ、トラスト団体の全国組織発足のきっかけになったように、この宣言がアジア・オセアニア地域との協力の輪の拡大に役立てばと祈っております。

公開シンポジウム(9/20~21)

「トラスト資産の保全管理と市民の関わり」と「アジア・オセアニア地域とのパートナーシップの形成」の二つのテーマをめぐって、事例報告と意見交換が行なわれました。パネリストとして、海外からは、IUCN(国際自然保護連合)世界遺産委員会副委員長でニュージーランドのビング・ルーカス氏、フィジー共和国副大統領でフィジーナショナルトラスト協会会長でもあるラトゥ・J・イロイロ氏、マレーシア遺産トラスト代表であるング・アイ・ワー氏、イギリス経済環境開発センター所長のディビッド・コープ氏の4名を招き、また国内からは、静岡県柿田川みどりのトラスト代表の漆畑信昭氏、長野県妻籠を愛する会常務理事小笠原宏氏の2名をお迎えしました。

事例報告では、トラスト資産を保全・保存することの難しさについて地域や時代を超えた共通の課題が改めて浮き彫りになる一方、それを乗り越え、資産価値を維持・向上させるための様々な取り組みが紹介されました。論議の結果は「1997知床宣言」としてまとめられ、このシンポジウムをきっかけに国内外も含めた交流を続けることを誓って閉会しました。



公開シンポジウム/海外からのパネリストが事例報告を行う。

1997 知床宣言

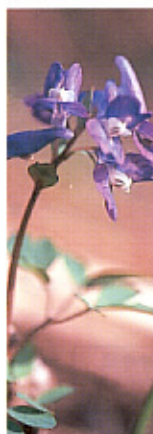
しれとこ100平方メートル運動20周年を記念し、さらなるナショナル・トラストの発展のため、日本の北海道斜里町を会場に一九九七年九月二〇・二一日の両日にわたって国際シンポジウム「アジア・オセアニア地域におけるナショナルトラスト」(二世紀への夢と課題)が開催された。

かつて同じこの地において、しれとこ100平方メートル運動五周年を記念して開催されたシンポジウム「日本におけるナショナル・トラストを考える」は、国内におけるナショナル・トラスト運動の発展と連帯の考えを促し、社団法人日本ナショナル・トラスト協会の結成とつながった。

(中略)

このシンポジウムでは、ニュージーランド、フィジー、マレーシア、イギリスをはじめ、国内での先進的事例も報告された。それぞれの地域において、最良と認められる方法を模索しながら、懸命な努力を重ねていることはもちろんであるが、土地取得にかかわる地域住民の理解、税制・過剰利用の問題など、直面する課題はあまりにも大きいものがあった。

今回の討論と、しれとこ100平方メートル運動の経験と踏まえ、私たちは次のことを宣言する。



森と生態系の再生計画が 本格スタートしました。

平成9年度の 森づくり事業

■専門委員会議で再生計画が策定されました

太古の森をめざす遠大な計画が、今はじまりました！

百年・二百年後を見すえた再生計画を立案するために、植物生態・野生動物など各界の専門家5名と、地元の有識者2名からなる専門委員会議が組織されました。会議は3回、6日間にわたって連日夜までおよび活発な討論が繰り返されました。

専門委員は右の方々です。



不変の原則、森の憲法を制定

●専門委員

石 城 謙 吉	(北大農学部教授・附属演習林長、現在退官)
青 井 俊 樹	(北大農学部助教授・苫小牧地方演習林長)
石 川 幸 男	(専修大学北海道短大造園林学科教授)
梶 光 一	(北海道環境科学研究センター野生動物科長)
甲 山 隆 司	(北大大学院地球環境研究科地域生態学講座教授)
石 井 政 之	(100平方メートル運動推進本部役員・知床自然保護協会会長)
山 崎 猛	(100平方メートル運動推進本部役員・しれとこ管理財団副理事長)

●三段階の再生計画

- *長期目標：100～200年先を目途に完成を目指す最終目標。
- *中期計画：中間的な到達地点としての中期的目標。20年毎に定める。
- *5年回帰作業計画：900ha余りの運動地を5つの区画に分け、5年で一巡する回帰作業を繰り返して20年毎の中期計画完成をめざす。

●運動地の全体、及び、項目毎の長期目標を定めました。

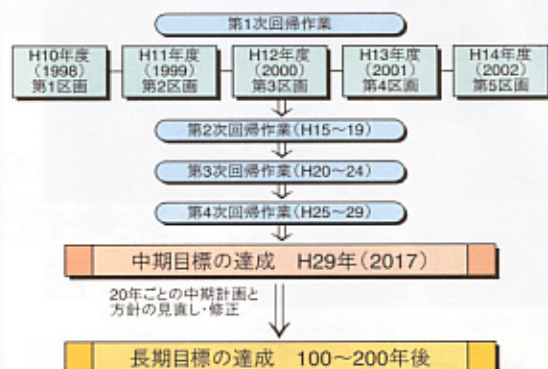
一長期全体目標一

- 1) 本来この地にあった原生の森を再生する。
- 2) 本来的な野生生物群集と自然生態系の循環を再生する。
- 3) トラスト資産としての運動地の適正な公開と保全のシステムを構築する。



一項目別長期目標一

- *台 地 上：もともとの植生であったトドマツとミスナラを中心とする針広混交林へと誘導していく。
- *河岸段丘斜面：針広混交林へと誘導するとともに、シマフクロウやオジロワシ・オオワシの営巣環境やねぐらとしての環境の保全と育成を図る。
- *河川・河畔林：カツラに象徴される河畔林の再生を図るとともに、サケマス其自然産卵やオショロコマの増殖が可能な環境を復元する。
- *自 然 草 原：草原環境の維持を図る。
- *動物相の復元：減少種の増殖や絶滅種の再導入によって、地域固有の動物相を復元し、安定させる。

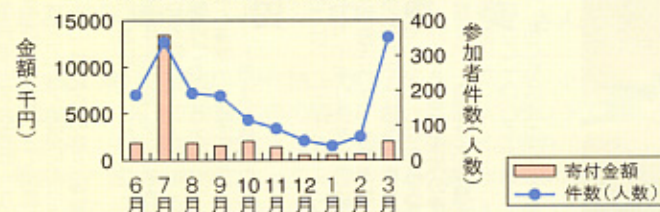


「100平方メートル運動の森・トラスト」参加状況

平成9年度末の参加総数： 1,616人 (件)

平成9年度末の寄付金総額：24,801,190円

平成9年度 (1997年) 「100平方メートル運動の森・トラスト」参加者と寄付金額の推移



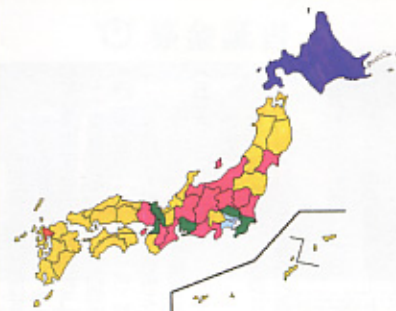
■運動参加者数

上位5県 (人・件)

- 1: 北海道 (618)
- 2: 東京都 (194)
- 3: 神奈川県 (105)
- 4: 埼玉県 (86)
- 5: 愛知県 (85)

■斜里町

参加者：431人 (件)



都道府県別の参加者の分布

- 凡例：0～<10人 ■、10～<50人 ■、50～<100人 ■、100～<200人 ■、200人以上 ■



●専門委員会議で、最も時間をかけて論議された重要な項目は、森づくりの原則です。太古の森の復元には、人の世代をこえる連続とした努力が必要です。そのために森づくりの「憲法」とも言うべき6項目の原則を定めました。

- 1) 植林木の生長によって余剰の樹木などが生じても、運動地の系外へ的人為的持ち出しは認めない。これは自然の営みから生産される物質は、すべて運動地内でリサイクルさせること、経済的利用は認めないことを意味します。
- 2) 自然に再生しつつある二次林では、森づくりのためであっても大規模な森林構造の急変は行わない。森の再生過程を助ける程度に留める。複雑な森林生態系の中では、人が良かれと思ってやったことが、森の成り立ちを壊してしまう危険性が絶対ないとはいいきれません。それを防ぐために、謙虚に弱度の働きかけをしつくりと行うことを意味します。
- 3) 再生計画の実施にあたっては、国立公園及び自然教育の場としての位置づけに配慮した森づくりを進めます。
- 4) 5年一巡の回帰作業方式をとること。過去の作業の結果を評価するモニタリング調査を欠かさない。常に後ろを振り返りつつ、自然に対して謙虚な作業を行っていきます。
- 5) 作業計画の立案や見直しは、定期的に関催する専門委員会議に諮り、承認を得なければならない。恣意的な変更は認められません。
- 6) 野生生物とその営みの再生にあたっては、遺伝子汚染を防ぐこと。つまり、減少種の他地域からの安易な導入は行わず、現地の個体群からの増殖を原則とします。また、絶滅種の復元では、遺伝的にも地理的にも極力近い個体群からの再導入を原則とします。

不変の原則

■平成9年度の植林事業

保全管理事業の一環として、全体で5haにアカエゾマツ・トドマツ・シラカンバの苗木が植林されました。

平成10年度には、こんな事を行います。

●苗畑づくりと苗の育成

知床の厳しい自然の中で選抜された遺伝子をもつ、現地の木の種や苗から、苗木を育成します。シカに食べられないように柵で囲います。

●カエル産卵池ととまり木の林づくり

春にシマフクロウの餌場となるエゾアカガエルの産卵池と将来とまり木になる林をつくります。

●シマフクロウの営巣可能木の保護作業

幌別川に面した斜面で、シマフクロウが営巣できる木をシカが食べてしまうのを防ぐ作業を行います。

- その他、ササ藪の地はぎによる森への誘導作業、アカエゾ・シラカンバ造林地の育成と樹種の多様化作業、約8haの植林作業、カラマツ造林地の樹種の多様化作業、二次林の育成試験など、盛り沢山の作業を行っていきます。

今年度の作業は、知床自然センターの周辺の
第1区画が主に対象となります。



「100平方メートル運動の森・トラストの」 募金にご協力下さい。

たいへんな時間を要する森と自然の再生。それは毎年の寄付金によって支えられています。皆様のご協力を、改めてお願いします。

- *寄付金は一口5,000円で、上限はありません。
- *将来の森の姿をイメージした絵を配した募金証書が発行されます。プレゼントも可能です。
- *寄付の翌年には「しれとこの森通信」をお届けします。回帰作業終了後には、報告書をお届けします。
- *しれとこの森で、交流する行事に参加できます。

森の番人 橋本 勝さん

(斜里町三井在住/昭和25年生まれ)

着実な森づくりには、それを担う人が必要です。長年、一つの森の成り立ち、その移ろい、人の働きかけに対する応え方を見守り続けた人にしか分からない、ある意味でセンスと言うべきものがなければ、自然の森の再生はできません。

その役割を橋本さんに担っていただくことになりました。橋本さんは、秀峰斜里岳の麓、三井地区にお住まいで、長く造園業を営んでおられます。森の番人は、交流事業で運動参加者の方々に、森づくりの様子や森の仕組みをお伝える仕事も担っています。あなたも橋本さんといっしょに知床の森に入ってみませんか？



知床の森で広がる交流の輪

知床自然教室

〔平成9年7月30日～8月5日〕

第18回目を迎えた知床自然教室。これまでのノウハウをぎっしり詰め込んだ自然体験カリキュラムに、今回は40人の子供達が参加しました。



参加者40名と個性豊かな指導員、大学生のボランティアリーダー6名の総勢58名。



自然教室では、班に分かれて生活する。班員は家族のようなもの。



野外生活は忙しい。食事を作って後かたづけすると、また次の食事の準備がはじまることも。

しれとこ森の集い (記念植樹祭)

〔平成9年9月21日〕



今回の森の集いは、しれとこ100平方メートル運動20周年記念行事の中で実施されました。ニュージーランドやマレーシアなどから国際シンポジウムのパネリストとして来訪された方々を含む総勢130名以上がこの記念植樹祭に参加し、アカエゾマツやトドマツ、ミスナラの苗を植樹しました。



平成9年度 森の交流事業 報告

森づくり ワークキャンプ

〔平成9年11月1日～11月6日〕



防鹿柵の補修作業。はじめはぎこちなかったけれど日を過ごすごとにサマになってゆく。

「森の番人」の橋本さんとともに、毎日知床の森へ出かけて心地よい汗をかきました。ボランティアスタッフも交えて和気あいあい、家庭的な雰囲気の中での6日間でした。



知床連山に見守られながら作業地へ向かう森づくりチーム。なぜか連日大快晴。



踏っているのではない、100年、200年先の森を想いつつ、ドングリをまく。



募金証書原画作者 田中豊美さん

運動への参加資格と募金証書をお祝い事などのプレゼントに用いることもできます。ご希望の方には、地元斜里木工サークルの皆さんが、ひとつひとつ手作りでセンノキ材製の額縁を頒布しております。美しい木目で、プレゼント用に好評です。

新たな運動の募金証書は、当代随一のワイルドライフアート作家、田中豊美さんの絵で彩られています。将来の知床の森の姿をいきいきとしたタッチで描いていただいたものです。田中さんは三重県松阪市の生まれ。現在、東京都武蔵野市在住。

鋭い観察眼と豊かな感性によって、田中さんの絵の中の動物たちは、まるで魂を持っているかのようで、今にも動き出しそうな迫力を持っています。知床に何度も取材に訪れた経験から描かれた証書の絵も素晴らしいものです。

募金証書



100平方メートル運動の森・トラスト
The 100 Square Meter Forest Movement Trust

発行年月日 発行金額 円

森の将来
いきいきと



平成9年度決算

■保全管理事業

平成9年度は、新規の土地取得はありませんでした。約5haの植林事業等（事業費計492万円）が行なわれました。

事務費の内訳は、運動20周年記念シンポジウムに150万円、しれとこの森通信21号の印刷・発送に371万円などです。

■森林再生事業

平成9年度は、森林再生計画の策定、森の交流事業などを行いました。事業費の内訳は、計画策定作業に72万円、森の番人の活動に50万円、交流事業に102万円などです。

また、運動のパンフレットやチラシ、募金証書等の印刷に161万円など、事務費577万円を用いています。

事業費に対する事務費の相対的な割合が大きくなっていますが、これは9年度が再生計画策定年であり、作業の本格化が10年度であることなどによるものです。

■森林保全基金と資産の状況

国立公園内森林保全基金の状況

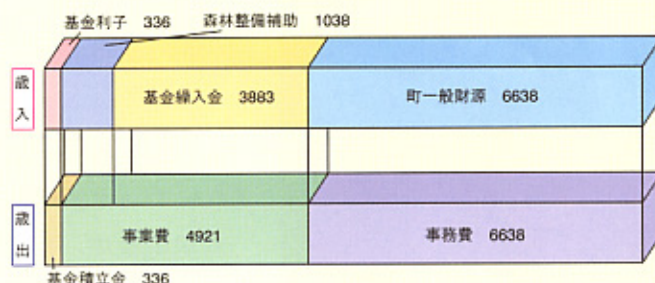
(単位：千円) (平成10年5月31日現在)

国立公園内森林保全基金									
土地保全管理資金 (保全事業のための資金)			森林再生等資金 (再生事業のための資金)						
	H8以前	H9	計		H8以前	H9	計		
歳入	寄付金	522,534	0	522,534	歳入	寄付金	0	24,801	24,801
	利息	65,158	336	65,494	利息	0	0	0	0
	計	587,692	336	588,028	計	0	24,801	24,801	
歳出	土地取得	311,167	0	311,167	歳出	事業費※	0	2,668	2,668
	植林	81,342	3,883	85,225	事務費	0	3,622	3,622	
	事務費	81,543	0	81,543	計	0	6,290	6,290	
残高	474,052	3,883	477,935	残高	0	6,290	6,290		
	113,640	-3,547	110,093		0	18,511	18,511		

※事業費には「森林再生事業」と「森の交流事業」にかかる費用が含まれます。

保全された土地の現状 (単位：ha)

運動対象地 960.55	保全済み地域	936.17
	(運動による保全地域 447.56)	
	(既存町有地 488.61)	
	未取得地	24.38
		(全体の2.5%)



(89千円が翌年に繰り越されます)



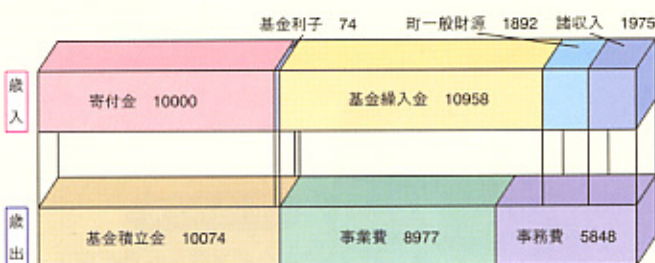
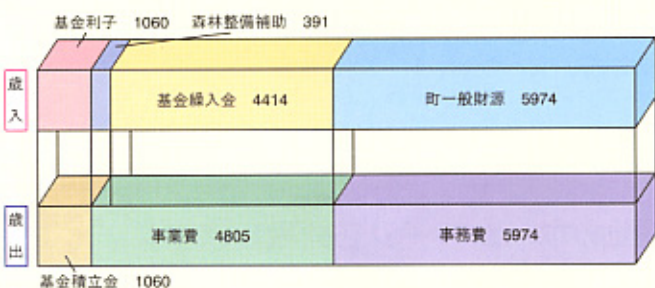
平成10年度予算

■保全管理事業

平成10年度は、約8haの植林等の事業費計404万円、満期を迎える森林保険の更新などの事業費が見込まれています。土地取得費用は、交渉がまとまった場合、予算補正します。事務費は、しれとこの森通信の印刷・発送の費用、100平米運動ハウスの展示更新費用が主なものです。

■森林再生事業

森作り作業が本格化する平成10年度は、森林再生に関わる費用が639万円あまり事業費の中に見込まれています。残る事業費は交流事業に関わるものです。事務費にはパンフレットやチラシ、募金証書等の印刷・発送、ホームページの作成・運用の費用などが含まれています。





知床の森に 来てみませんか?



平成10年度
しれとこの森
交流事業の
ご案内

■しれとこ森の集い

9/20

記念植樹祭や森の散策、森林再生作業地の見学。参加費は無料。

集合解散は知床自然センター。

■問い合わせ・申込み先:

〒099-4192 北海道斜里郡斜里町本町12番地
斜里町役場 自然保護係

TEL:01522-3-3131 (FAX:2-2040)

■森づくりワークキャンプ

11/1~6 [申込×切8/1]

森づくり作業体験のチャンス。森の番人とともに「夢の森」を体験する5泊6日。

参加費15,000円。定員12名。

集合解散は知床自然センター。

■問い合わせ・申込み先:

〒099-4356 北海道斜里郡斜里町岩尾別531
知床自然センター

TEL:01522-4-2114 (FAX:4-2115)

■知床自然教室

7/30~8/5 [申込×切7/14]

今年から募集範囲を全国に拡大。集合解散は全国の各空港(千歳・羽田・名古屋・関西・福岡)およびJR網走駅。参加費は35,000円~143,000円(交通費込/地域により異なります)。小学4年生から高校3年生が対象。

■問い合わせ・申込み先:

詳細は下記までお問い合わせください。
〒190-0022 東京都立川市錦町2-1-22
自然教育研究センター内「知床自然教室」係
TEL:042-528-6595 (FAX:528-6596)

*斜里町内の方は、役場自然保護係

TEL:3-3131まで。

旧運動「しれとこ100平方メートル運動」 参加者の皆様へ

- *皆様のご寄付によって保全された土地は、譲渡不能の原則を定めた条例によって今後とも厳正に保全されます。
- *旧運動の残る課題は、「保全管理事業」の中で平成13年までを目標に達成をめざします。
- *毎年の通信の発行費用が、300万円以上にも及んでいます。平成13年以降は、通信の発行を随時必要に応じて行うことにごさせて下さい。
- *新運動の交流事業への参加は、今後とも可能です。

新運動「100平方メートル運動の森・トラスト」 参加者の皆様へ

- *毎年の皆様のご寄付で、森と自然の再生と参加者の交流事業が行われます。
- *ご寄付いただいた年の翌年度にしれとこの森通信をお届けします。今回は平成9年度にご寄付いただいた方にお送りしています。
- *5年周期の再生作業の結果を回帰作業終了翌年に、報告書としてお知らせします。皆様にお送りするのは、平成15年になります。
- *交流事業のご案内は毎年お送りできませんが、定例で行われておりますので、お問い合わせ下さい。いつでもお申込可能です。

運動のホームページを開設します!

*今年度内に開設をめざして準備中です。森づくりの様子や交流事業の参加案内を、リアルタイムでお届けできるようになります。

ECOLOGY CARD



カードで運動をご支援下さい!

財団の地球防衛基金と株式会社ダイエーオーエムシーでは、地球環境保全に貢献するクレジットカードを発行しています。その中の「知床の自然を守る」カードは、ご利用額の0.5%が、カード会社の負担で100平方メートル運動の森・トラストへ寄付されます。買い物をしているだけで、新たな自己負担なしに運動をご支援いただけます。

問い合わせ先

東京都品川区西五反田7-21-1 株式会社ダイエーオーエムシー提携加盟店部

「OMCエコロジーカード」係 TEL:03-3495-8610